

第45回全国障害者技能競技大会
 <122> パソコン操作 競技に関する事項・事前公表課題

(無断転載禁止)

競技に関する事項	説明内容
競技内容と制限時間	提供データをもとに、課題1から課題4を制限時間90分で、解答ファイル（以下、作品）として保存する。作成する作品の順番は、任意とする。
会場に準備されているもの	1. デスクトップ型パソコン：OS：Windows11 Pro、CPU：Corei7-10700、メモリ：32GB、JIS標準配列109キーボード、マウス 2. 液晶ディスプレイ24インチ型 3. Microsoft Office2021 (Excel、PowerPoint、Word) 4. 支援ソフト：PC-TalkerNeoPlus、ZoomText、NVDA（日本語版） 5. ブラウザ：NetReaderNeo、Edge、Chrome、Firefox 6. その他のソフト：MyEdit、メモ帳等 7. 作品保存用USBメモリ 8. インクジェットプリンタ（A4版対応） 9. OAデスク、OAデスクチェア 10. 選手が申請して大会主催者が用意したもの（拡大読書器、点字ディスプレイ、モニター用ディスプレイアーム）
選手が持参するもの	1. スクリーンリーダーを使用する選手は、イヤホンやヘッドフォン 2. 事前に申請して、個人での持ち込み許可を得ているキーボード、マウス、スクリーンリーダー、および拡大鏡の用途として使用するためのスマートフォン・タブレット端末。 3. 必要に応じて筆記用具 4. スクリーンリーダーの環境設定ファイルやOffice製品のクイックアクセスツールバーを書き出したファイルのみが保存されているUSBメモリ（該当者のみで、使用はオリエンテーション時のみ）
オリエンテーション、および競技本番時に持ち込み可能なもの	1. 事前申請の上、持ち込みが可能なもの (1) キーボード、マウス (2) スクリーンリーダー (3) 拡大鏡の用途として使用するためのスマートフォン・タブレット端末。なお、スマートフォン・タブレット端末の使用にあたっては、スタッフ立ち会いのもと通信機能をオフ（機内モード）にすること。 2. 事前申請の必要はなく、持ち込みが可能なもの (1) イヤホン、ヘッドホン等音響機器（音が遅延する可能性があるため有線を推奨） (2) オリエンテーション時のみ、PC-Talker等スクリーンリーダーの設定ファイル、Office製品のクイックアクセスツールバーを書き出した設定ファイルのみが保存されているUSBメモリ。（USBメモリに設定ファイル以外が保存されている場合は使用を認めない場合がある。また設定完了後はUSBメモリを取り出すこと）
禁止事項	以下の9つの禁止事項に関する行為を確認した場合は、競技を一旦中止し、事務局立ち会いのもと、選手からの聞き取りを含め状況の確認を行います。 1. 競技中に作品の作成に当たり、エリア外の他者などに課題を提供し、指導、助言、解答を受けてはならない。 2. 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。 3. 競技時間に遅刻、および競技時間中に許可なく席を離れてはならない。 4. 故意にパソコンや備品を毀損させてはならない。 5. 定められた競技時間、および競技エリア以外で作品の作成を行ってはならない。 6. 大会主催者が会場に用意したパソコン、および機器以外を使用してはならない。ただし、事前に申請して許可を得ている機器等は除く。 7. 競技中に、機器、用具類の貸し借りを行ってはならない。 8. 競技中に、大会主催者が用意したUSBメモリ以外の記憶媒体、およびプリンタに設定されている用紙以外を使用してはならない。ただし、この用紙をメモ用紙として使用することは可能とする。 9. 競技中に、時計機能の使用を含め、スマートウォッチ、スマートフォン、タブレット等のデバイスを使用してはならない。ただし、拡大鏡等の拡大機能については、事前に申請の上、通信機能をOffにして使用することができる。

注意事項	1. 競技エリアでは、指定されたゼッケン番号の座席に着席すること。 2. 競技中、および競技終了後にブラウザの履歴を削除してはならない。 3. オリエンテーション時に閲覧したブラウザの履歴、および保存したファイルは、オリエンテーション終了後、スタッフが削除します。 4. インターネットの検索において、以下の機能を使用する場合があります。 (1) マウスカーソル（仮想カーソル）をフォーカスしている位置（実際のフォーカス）に合わせる機能 (2) マウスの追従設定およびその解除 (3) 仮想カーソルによる範囲選択 5. ChatGPTやCopilot等の生成人工知能（以下生成AI）の利用は、視覚障害者のパソコン操作において利便性の高いものと考え、今大会は試験的に生成AIの利用を認めることにします。ただし次の生成AIの利用、操作等は禁止とします。 (1) ご自身のアカウントを含め、ログインして利用すること (2) 各設問の文書をそのまま生成AIに入力（コピーを含む）して、回答、助言等を得ること。 (3) 画像生成AIを含む生成AIで写真や映像、イラスト等を作成すること。 なお、オリエンテーション時の生成AIの利用状況により、当日課題をおこなう際の生成AIの使用を禁止する場合があります。 6. 課題の検証は、PC-TalkerNeを使用しています。
課題内容	1. 課題数は4つで、各課題番号のフォルダに保存されている。 2. 課題文は競技開始後、必要に応じて選手自身で印刷することは可能である。 3. 使用している住所や氏名などはサンプルデータである。
作品の提出方法と採点対象	1. 作品は、課題の指示に従い保存すること。 2. 採点の対象は、選手自身が全選手解答終了後にスタッフの指示にしたがい、ドキュメントフォルダから作品保存用USBメモリにコピーした作品ファイルとする。 3. 作品の提出にあたり、課題の意図にそった作品、それぞれのソフトウェアの機能を適切に使用した作品を優位とする。 4. 本課題は、障害特性上確認が難しい部分については、作成後に同僚や上司の目を借りるなどの合理的配慮・サポートを受けられることを前提に作成している。このため、色彩、細かなレイアウト調整などの見た目の体裁については、課題で指示がある場合を除いて、採点の対象外とする。 5. 必要に応じてExcelに作業用のセル、列、行、シートの追加は認める。なお、マクロは認めない。 また、テキストエディタ等、パソコンにインストールされているソフトウェアの使用は可能である。
操作ができなくなった場合	1. 競技中にパソコンにトラブル等が生じた場合は、速やかに手を挙げて、スタッフにその旨を申し出ること。 2. スタッフは状況を判断して、ロスタイムとして競技時間の延長等の対応を行う。なお、状況によっては、ロスタイムと認定しない場合がある。 3. トラブルの復旧には、原則、選手自身がスクリーンリーダー、アプリケーションソフト、パソコンの再起動などを行う。 4. 上記の再起動を実施し、3分を目途に復旧できない場合は、パソコン本体の交換を行う。交換したパソコンのスクリーンリーダー等の環境設定は、オリエンテーション時に保存した作品保存用USBメモリを利用して、選手自身が10分を目途におこなう。 5. 交換前のパソコンに保存されている課題、および作品は、スタッフが作品保存用USBメモリにコピーし、交換後のパソコンに保存する。なお、選手が作品保存用USBメモリをバックアップの保存先として使用することは可能。 6. これらの復旧作業を行った結果、データの破損等作品の保存に関するトラブル等が発生した場合、スタッフは責任を負わない。 7. 延長する競技時間については、その都度口頭でお伝えする。 8. 競技時間延長の対象選手は、全体の「やめ」の合図のあとも作品の作成を継続する。なお、延長時間帯の時間経過はお伝えしない。 9. 競技時間延長の対象選手の終了の合図は、スタッフが個別でお伝えする。

オリエンテーション時の実施事項	1. 選手、および付き添い者は、オリエンテーション開始時間まで競技エリア外で待機。スタッフのアナウンスにより一斉にエリア内に入場。 2. オリエンテーションの時間説明と競技参加選手の紹介 3. パソコンの環境設定および事前申請した機器の設定と確認（30分程度） (1) 競技で使用するパソコン、ソフトウェア、OAデスク、OAデスクチェア、保存用USBメモリ、プリンタ等の設置具合と動作の確認。 (2) スクリーンリーダーや画面、各ソフトソフトウェアなどの環境の設定。PC-Talker以外のインストール、およびスクリーンリーダーの設定については、選手自身が行う。 (3) スクリーンリーダーの環境設定ファイル、Officeのクイックアクセスツールバーの設定ファイルが保存されているUSBメモリを使った環境設定。 ただし、USBメモリに保存されているファイルは、これらのファイルのみとする。 (4) パソコンやソフトウェアの設定を初期値から変更している項目とその内容については、エクセルファイルで提供予定。 (5) 事前に申請した拡大読書器、点字ディスプレイ、モニタ用ディスプレイアーム、持ち込みのキーボード、マウス等についての設定 (6) タブレット端末等を拡大鏡等の拡大機能として使用する際の通信機能Off設定 (7) イヤホンやヘッドホン等の動作確認。 (8) Webブラウザの動作確認。 必要に応じて無料の会員制サイトを利用することは可能である。ただし、2段階認証でスマートフォンでの確認が必要となった場合、スタッフが画面を確認することがある。 (9) 環境ファイルのバックアップ 選手は、必要に応じてスクリーンリーダーの環境設定ファイル、およびOfficeのクイックアクセスツールバーの設定ファイルを大会主催者が用意した作品保存用USBメモリに保存。 4. リハーサル（45分程度） 指定された時間から一斉に、競技本番の進行に準じて実施。また、競技で使用する資料ファイル等を確認。 5. リハーサル終了後 (1) 競技当日のタイムスケジュールや競技に関する説明。 (2) 競技に関する説明終了後は流れ解散。 (3) 環境設定未終了者はオリエンテーションの終了時間まで設定可能。 6. 付き添い者は、リハーサルの時間を除き、エリア内でのサポートは可能。ただし、設定に関する助言や代行操作は不可とする。
備考	上記内容や仕様は、予告なく変更する場合がある。